

がん原性指針関係検討対象物質において使用すべき保護具（案）

アクロレイン

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>有機ガス用防毒マスク</p> <p>ただし、作業者のばく露限界値以下となるような防護係数のものを選択する必要があり、アクロレインの環境濃度が高い場合には送気マスクや空気呼吸器の使用が推奨される。</p> <p>（※試験ガス濃度10ppm、破過濃度0.1ppmで破過試験を実施し、各社の除毒能力が最も小さい吸収缶での破過時間が91～209分。除毒能力がより高いものであれば、各社とも破過時間が8時間を超えるものが存在。）</p>	<p>防毒マスクの規格、JIS T 8152（防毒マスク）、JIS T 8153（送気マスク）</p>
保護衣、保護手袋等	<p>【素材別耐透過性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス6（平均標準破過点検出時間 >480min.） IIR（ブチルゴム）、EVOH（エチレンビニルアルコール共重合体） ・クラス2（平均標準破過点検出時間 >30min.） NR（天然ゴム） ・クラス1（平均標準破過点検出時間 >10min.） CSM（クロロスルホン化ポリエチレン）、PVA（ポリビニルアルコール）、NBR（ニトリルゴム） 	<p>JIS T 8116（化学防護手袋）、JIS T 8115（化学防護服）</p>
保護眼鏡	<p>保護めがねの使用は不適切であり、適切な除毒能力を有する全面形面体の呼吸用保護具を選定し、漏れのないことを確認して使用することが推奨される。</p> <p>※アクロレイン蒸気が空気中にばく露限界値（日本産業衛生学会 許容濃度：0.1 ppm、ACGIH TLV-STEL/CEIL：C 0.1 ppm）より低い0.06ppm程度存在すると5分以内に眼への刺激を生じさせるとの報告あり。</p>	

がん原性指針関係検討対象物質において使用すべき保護具（案）

アクリル酸メチル

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>有機ガス用防毒マスク</p> <p>ただし、アクリル酸メチルの環境濃度が200ppmを超える場合には送気マスクや空気呼吸器の使用が推奨される。</p> <p>（※試験ガス濃度200ppm、破過濃度2ppmで破過試験を実施し、各社の除毒能力が最も小さい吸収缶での破過時間が107～197分。除毒能力がより高いものであれば、破過時間が8時間を超えるものが存在。）</p>	<p>防毒マスクの規格、JIS T 8152（防毒マスク）、JIS T 8153（送気マスク）</p>
保護衣、保護手袋等	<p>【素材別耐透過性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス6（平均標準破過点検出時間 >480min.） EVOH（エチレンビニルアルコール共重合体）、PVA（ポリビニルアルコール） ・クラス4（平均標準破過点検出時間 >120min.） IIR（ブチルゴム） ・クラス1（平均標準破過点検出時間 >10min.） CSM（クロロスルホン化ポリエチレン）、NR（天然ゴム）、CR（クロロプレンゴム）、FKM（フッ素ゴム）、PU（ポリウレタン）、PVC（ポリ塩化ビニル） 	<p>JIS T 8116 （化学防護手袋）</p>
保護眼鏡	<p>【薬液飛沫からの保護】</p> <p>ゴーグル型若しくはスペクタクル型の保護めがね 又は顔面保護具（防災面）</p> <p>【蒸気からの保護が必要な場合】</p> <p>保護めがねの使用は不適切であり、適切な除毒能力を有する全面形面体の呼吸用保護具を選定し、漏れのないことを確認して使用することが推奨される。</p>	<p>JIS T 8147 （保護めがね）</p>

がん原性指針関係検討対象物質において使用すべき保護具（案）

メタクリル酸 2, 3 - エポキシプロピル

	推奨されるもの及び留意事項	規格
呼吸用保護具	<p>有機ガス用防毒マスク</p> <p>ただし、メタクリル酸 2, 3 - エポキシプロピルのミストが同時に発生する可能性がある場合、液体の試験粒子を用いた粒子捕集効率試験に合格した有機ガス用吸収缶（L1, L2, L3）を選定する必要がある。</p> <p>（※試験ガス濃度10～100ppm、破過濃度0.5ppmで破過試験を実施し、各社の除毒能力が最も小さい吸収缶でも破過時間は8時間超。）</p>	<p>防毒マスクの規格、JIS T 8152（防毒マスク）、JIS T 8153（送気マスク）</p>
保護衣、保護手袋等	<p>【素材別耐透過性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス 6（平均標準破過点検出時間 >480min.） EVOH（エチレンビニルアルコール共重合体）、PVA（ポリビニルアルコール） ・クラス 5（平均標準破過点検出時間 >240min.） シリコーン ・クラス 4（平均標準破過点検出時間 >120min.） CSM（クロロスルホン化ポリエチレン） ・クラス 3（平均標準破過点検出時間 >60min.） CR（クロロプレンゴム） ・クラス 1（平均標準破過点検出時間 >10min.）又はクラス 2（平均標準破過点検出時間 >30min.） PU（ポリウレタン）、NBR（ニトリルゴム） 	<p>JIS T 8116 （化学防護手袋）</p>
保護眼鏡	<p>【薬液飛沫からの保護】</p> <p>ゴーグル型の保護めがね</p> <p>適切な除毒能力を有する全面形面体の呼吸用保護具を選定し、漏れの無いことを確認して使用することがより推奨される。</p>	<p>JIS T 8147 （保護めがね）</p>